

# 当初予算



曾於市はどんな未来を目指していくのか。その未来のため何に力を入れていくのか。「方針」「予算」を通してお伝えします。

## 令和5年度施政方針

私たちの曾於市の人口が市誕生後17年で約1万5000人減少している事実と超高齢化に対する危機意識を市民全体で共有し、本市の将来像である「豊かな自然の中で、みんなが創る笑顔輝く元気なまち」を実現するため「第2次曾於市総合振興計画」に示した、まちづくりの基本方向に向けた取り組みを進め、市民が安心して働き、将来に夢や希望を持つことができるような魅力あふれる地域社会を実現していくため「第2期曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を計画的に実施しながら、市の人口増対策に対して積極的に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、市民が安全・安心を実感できる社会となるよう全力を尽くしてまいります。

## 施政方針の概要

### 1 人口増対策

引き続き分譲地の販売促進に努めます。住宅取得祝金、移住・就業支援金などの金額を増額し定住・移住をこれまで以上に推進します。



### 2 子育て支援

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように、妊娠期から一貫して相談に応じ、出産育児関連用品の購入費助成などの給付を行う伴走型相談支援や出産・子育て応援給付金の一体的な支援を行います。



### 3 情報発信

市報そお・コミュニティFM放送・各種SNSなどを活用し、分かりやすい内容で積極的に情報提供します。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動く市役所として通信機器を搭載した「コネクティッドカー」で住民サービス向上に取り組めます。



コネクティッドカーで健診のデモンストレーション



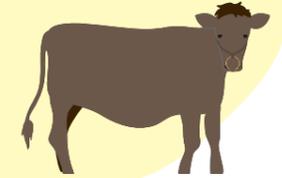
改修された管理棟・研修棟・地域交流棟

### 4 南九州畜産獣医学拠点事業

鹿児島大学など関係機関との連携を強め、令和5年度は馬関連施設の整備を進めるとともに令和6年4月の運営開始に向けた準備を進めます。

## 6 産業の振興

曾於市は畜産を中心とする農業のまちであり、農業生産額を増やすことを本市発展の基本と掲げます。耕種部門は後継者の確保・育成や農地の集積・集約とコスト削減のため、安定した農業経営を推進します。引き続き加工業務用野菜と環境保全型農業の推進に取り組み、特産品であるゆずの搾汁センター増設による一次加工の効率化を図ります。畑かん営農については水を活用した農作物の収量増、品質向上を図ります。農家所得の向上を目指し、農業公社の受託事業、コントラクター事業を拡充します。畜産については、畜産振興協議会事業を中心とした導入保留対策や家畜改良を計画的に進め、飼養管理の省力化と多頭化を図るための生産基盤施設整備を取り組みます。また家畜伝染病を防止するため、防疫対策の強化による家畜衛生体制の確立と家畜の生産性向上を図ります。



## 10 健康・生きがづくり

市民や市外からの利用者が広く交流し、憩える場として新地公園グラウンドゴルフ場は、これまで12万3千人を超える方々にご利用いただいています。今後も、多くの皆さまにご利用いただけるよう、施設の充実とサービスの向上に努めます。

- 令和5年度の予算は
- ① 市民にやさしい市政運営
  - ② 人と自然を生かした活気ある地域づくり
  - ③ 教育・文化を促進し、心豊かなまちづくり
  - ④ 人口増を目指し、地域活性化の推進
  - ⑤ 農・畜産物を生かした所得倍増のまちづくり

## 5 庁舎整備事業

「本庁・支所機能再編計画」に基づき災害時の重要な防災拠点施設として令和7年度開庁に向けた大隅・財部両支所の庁舎整備を進めます。また老朽化の進む本庁舎の改修も計画的に取り組みます。

## 7 ふるさと納税

令和4年4月から令和5年3月までの1年間で、約8万4千件、15億円を超える寄附金をいただきました。令和5年度もさらにふるさと納税に対する活動を充実し、全国的なPRと地域活性化に努めます。



人気の返礼品  
鹿児島県産黒毛和牛ステーキ  
合計 800 g

## 8 災害復旧事業

昨年、梅雨前線豪雨と特に台風14号により多くの市道・河川・農地・農業用施設で災害が発生し、農産物にも多くの被害が発生しました。予防保全対策に取り組みながら1日も早い復旧に努めます。

## 9 ひとづくり

学校施設では新たに末吉小学校改築計画にも着手します。GIGAスクールにおけるタブレットや電子黒板などICT機器の活用を一層推進します。学校給食費の補助は3分の1から3分の2へ引き上げます。また令和6年9月の供用開始に向けた、新たな学校給食センターの整備を進めます。

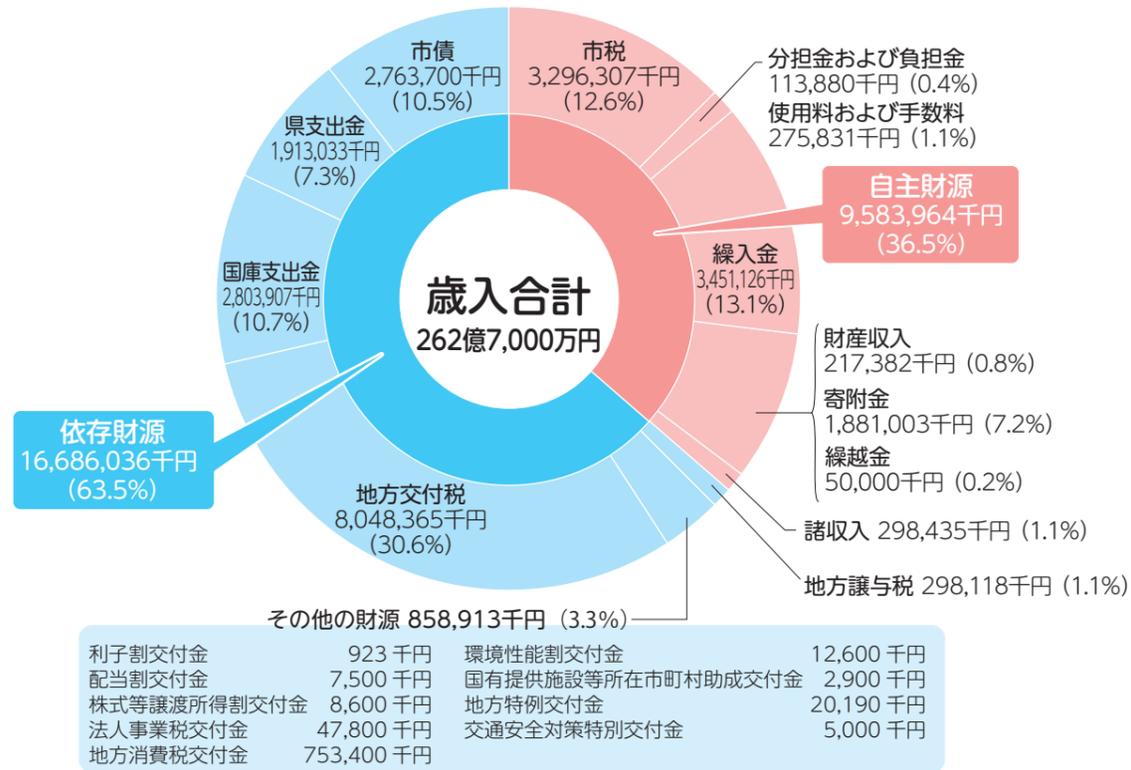
の5つを基本方針として市民の福祉・教育・くらしを守るための予算として編成しました。以上、令和5年度における市政運営の基本的な考え方について申しあげましたが、議員各位並びに市民の皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年2月24日～3月24日  
3月定例議会にて

曾於市長  
五位塚 剛

# 令和5年度の 当初予算

## 歳入



## 一般会計歳入歳出総額 262億7,000万円

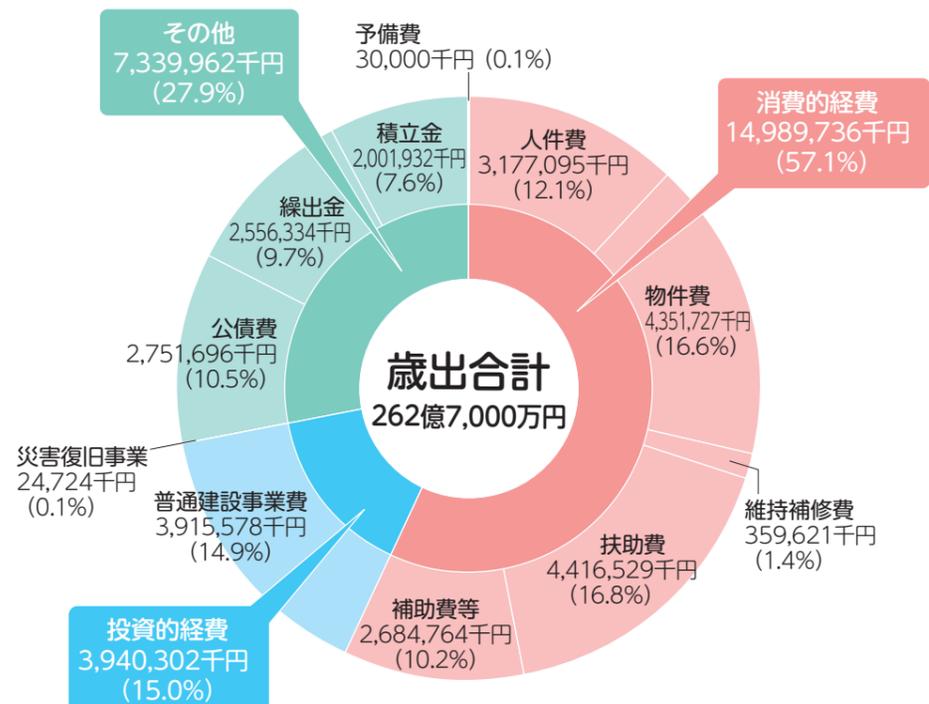
～市民の目線に立ち、小さな声も大切にする市政を目指します～

### 歳入

歳入の主なものとして、自主財源のうち市税は、市民税の個人所得割の増により3.2%増の32億9630万7千円を計上。繰入金は、ふるさと開発基金繰入金やまちづくり基金繰入金などの増により5.8%増の34億5112万6千円となりました。曾於市の自主財源比率は、36.5%であり、昨年度と比較して1.3%増えています。

一方、依存財源のうち、歳入全体の30.6%を占める地方交付税は、80億4836万5千円を計上しました。地方交付税のうち普通交付税は、前年度実績などを考慮し、0.2%減の77億4836万5千円となりました。国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費負担金や地方創生臨時交付金などの減により5.2%減の28億390万7千円を計上しました。市債は学校給食センター施設整備事業などの増により9.5%増の27億6370万円を計上しました。

## 歳出



### 歳出

歳出の主なものとして、物件費は南九州畜産獣医学拠点事業にともなう事務用機器購入などにより1.8%増の43億5172万7千円を計上しました。扶助費は生活保護扶助費など1.3%減の44億1652万9千円。補助費などは農地耕作条件改善事業病害虫対策型助成金など3.4%増の26億8476万4千円。普通建設事業費は学校給食センター施設整備事業など6.0%増の39億1557万8千円を計上しました。積立金は南九州畜産獣医学拠点事業基金積立金など5.0%増の20億193万2千円。公債費は償還元金2.4%減の27億5169万6千円となりました。



### 会計予算規模

区分	令和5年度	令和4年度	増減額	伸率
一般会計	262億7,000万円	259億8,977万6,000円	2億8,022万4,000円	1.1%
特別会計				
国民健康保険特別会計	55億5,245万3,000円	56億2,121万9,000円	-6,876万6,000円	-1.2%
後期高齢者医療特別会計	6億4,432万6,000円	6億5,095万9,000円	-663万3,000円	-1.0%
介護保険特別会計	59億5,939万6,000円	59億5,960万9,000円	-21万3,000円	0.0%
生活排水処理事業特別会計	6,727万6,000円	6,837万4,000円	-109万8,000円	-1.6%
小計	122億2,345万1,000円	123億16万1,000円	-7,671万円	-0.6%
水道事業(支出計)	10億7,203万4,000円	9億8,997万4,000円	8,206万円	8.3%
公共下水道事業(支出計)	4億3,131万円	3億1,991万2,000円	1億1,139万8,000円	34.8%
合計	399億9,679万5,000円	395億9,982万3,000円	3億9,697万2,000円	1.0%

※水道事業会計・公共下水道事業会計は収益的支出と資本的支出の計。

コラム2 市民1人あたりの予算額

総額 784,132円

●主なもの

<b>議会費</b> 議会の運営に要する経費 5,604円	<b>総務費</b> 庁舎や財産の管理、選挙、戸籍および市税の賦課徴収などの行政運営全般に要する経費 84,216円	<b>民生費</b> 子どもや高齢者、障がい者などへの福祉関係全般の事業に要する経費 236,027円	<b>衛生費</b> 保健衛生や環境などの健康で衛生的な生活環境を送るために要する経費 38,189円	<b>農林水産業費</b> 農業や畜産業、林業などの振興に要する経費 66,896円
<b>商工費</b> 商工業の振興や観光振興、思いやりふるさと寄附金推進事業、企業誘致を推進するために要する経費 98,957円	<b>土木費</b> 道路や橋、河川、公園など住環境を整備するために要する経費 57,013円	<b>消防費</b> 火災や風水害などの災害から市民の生命と財産を守るために要する経費 26,205円	<b>教育費</b> 学校や教育施設の整備、教育振興や生涯学習、文化、スポーツなどの振興のために要する経費 87,256円	<b>公債費</b> 市の借入金の返済に要する経費 82,135円

皆さんから納めていただく市税と事業などに使われるお金では一人当たり

**支出 784,132円 - 収入 98,391円 = 685,741円** が不足します。

この不足額の大部分は地方交付税や国・県からの支出金、市債（借金）などでまかなわれています。

コラム3 曾於市を一般家計にたとえてみると…

国をはじめ地方自治体の財政状況が厳しいといわれるなか、曾於市の財政はどんな状況でしょうか？

令和5年度一般会計予算の収入と支出の状況を曾於市の一世帯あたりの平均所得である年額488万円（令和元年市町村民所得推計）の家計に置き換えてみました。収入は月収とパートなどの副収入、預金取り崩しなどを合わせて178万円ですが、食費・光熱費・家族

の医療費・子どもへの仕送り・町内会費・ローンの返済や古くなった家の改築費などの費用のため、支出額は488万円となっています。そのため収入のほとんどを親からの仕送り（国や県などからの補助金）や借金に頼っています。また不足分を銀行からの借金（市債）や預金（基金）の引き出しにより、やり繰りをしています。（依存財源は310万円・63.5%）

項目	金額	構成比
給料（市税）	61万3千円	12.6%
パート収入やアパートの家賃収入など（使用料・手数料・雑収入など）	51万7千円	10.6%
預金の切り崩し（繰入金）	64万1千円	13.1%
前年度からの繰越金	9千円	0.2%
親からの援助（地方交付税・国県支出金など）	258万7千円	53.0%
借金（市債）	51万3千円	10.5%
合計	488万円	100.0%

項目	金額	構成比
食費（人件費）	59万円	12.1%
光熱水費・日用雑貨（物件費）	80万8千円	16.6%
家などの修理（維持補修費）	6万7千円	1.4%
医療費（扶助費）	82万円	16.8%
自治会費・サークル費（補助費など）	49万9千円	10.2%
家の新築増改築費（普通建設事業費）	73万2千円	15.0%
ローンの返済（公債費）	51万1千円	10.5%
定期預金（積立金）	37万2千円	7.6%
子どもへの仕送り（繰出金）	47万5千円	9.7%
予備費	6千円	0.1%
合計	488万円	100.0%

※（ ）は予算上の区別を表しています。

令和5年度の主な事業

市の総合振興計画に基づいた主な事業などについて紹介します。

1 市民主役の協働のまちづくり

●自治会振興助成事業

521.5万9千円

各自治会に行政連絡員を配置し、自主的活動が展開出来るよう円滑な推進を図ります。

●大隅・財部支所庁舎整備事業

1億4306万3千円

災害時における地域の防災拠点施設の充実と機能的な庁舎を整備することと住民サービスの向上を図ります。

●南九州畜産獣医学拠点事業

3億9960万9千円

財部高校跡地の活用を行い、基幹産業である畜産業の持続的発展と全国の獣医学部生などとの交流を通して、市外から新しい人の流れを作るため整備します。

2 市民のいきいきのまちづくり

●子ども・子育て支援給付費

15億343万1千円

特定教育・保育施設に対し施設型給付費を支給することで、子どもの健全育成や保育・幼児教育の充実を図ります。

4 市民生活の土台を守る

●道路維持事業

2億6446万2千円

生活環境の保全や施設の耐用期間の延命を図るため、道路や側溝などの補修などを実施します。

3 地域資源を活かし、活力とにぎわいのまちづくり

●サツマイモ基腐病排水対策事業

1億7666万9千円

サツマイモ基腐病のまん延防止や発生予防を図るため、排水対策や土層改良に対して支援します。

●思いやりふるさと寄附金推進事業

29億559万9千円

思いやりふるさと寄附金の募集や特産品の発送による全国的なPRを推進します。

●健康増進事業

6732万7千円

疾病の予防・早期発見・早期治療により、健康寿命の延伸を図るため検診や健康相談などを実施します。

●消防設備整備事業

8173万8千円

消防体制の充実を図るため、消防用機材ならびに水利施設・分団詰所などの整備を実施します。

5 個性豊かな教育と文化の

●ICT教育環境整備事業

2974万円

小・中学校のGIGAスクール構想の実現を図るため、ネットワークシステムおよびICT機器活用に向けた充実を図ります。

●学校給食助成事業

7732万3千円

保護者負担軽減のため給食費の3分の2の補助を実施します。

●学校給食センター施設整備事業

11億3090万6千円

児童生徒へ安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、市内4カ所の調理場を統合し、新たな学校給食センターを整備します。

コラム1 市民1人あたりの市税負担額

総額 98,391円

（令和5年3月1日現在の住民基本台帳人口 3万3,502人）

【内訳】 市民税	33,555円	軽自動車税	5,422円
固定資産税	54,067円	たばこ税	5,347円

